

北朝鮮の核実験を厳しく糾弾・抗議し、問題解決のために世界と
日本の安全確保を求める意見書

北朝鮮は、9月3日、昨年9月に続く6回目の核実験を強行した。北朝鮮は、「大陸間弾道ミサイルを搭載の水素爆弾の実験を成功させた」と主張している。

北朝鮮の核実験は、今年だけでも14回行った弾道ミサイル発射とともに、世界と地域の平和と安定にとって重大な脅威であり、国連安保理決議、6カ国協議の共同声明、日朝平壤宣言に違反する暴挙であり、国際社会が追究している「対話による解決」に逆行する行為である。また、「核兵器のない世界」を求める世界の大勢に逆らうものである。

扶桑町議会は、「非核平和宣言」をしている町として、強い憤りをもって、この暴挙を糾弾し、断固抗議する。

したがって、政府に対し、世界と日本の平和と安全を確保するために万全を尽くすことを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成29年 9 月 28 日

衆議院議長 大 島 理 森 殿
参議院議長 伊 達 忠 一 殿
内閣総理大臣 安 倍 晋 三 殿
外務大臣 河 野 太 郎 殿
防衛大臣 小野寺 五 典 殿

愛知県丹羽郡扶桑町議会